

# 1 ボランティアコーディネーション力検定とは？

人々の価値観が多様化し、社会的な機能もより専門化する現代。

私たちの暮らしや仕事にとって“コーディネーション”の機能が不可欠になってきています。

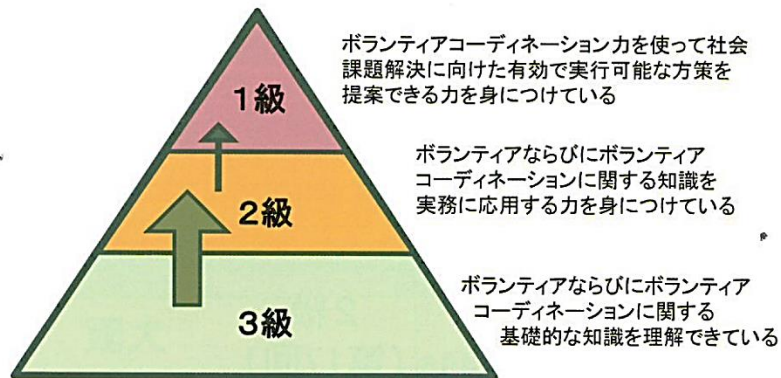
市民の自発的な社会参加と継続的な活動を支える“ボランティアコーディネーション”のはたらきもその一つです。単にボランティアしたい人と受け入れたいニーズをつなぐという狭い意味だけの機能ではなく、一人ひとりが市民社会づくりに参加し、さまざまな社会課題に対して、その力と可能性を発揮できるように支える役割は、いま私たちが暮らす社会のあらゆる場面で求められています。

私たち日本ボランティアコーディネーター協会では、この“市民の社会参加を支えるチカラ”と“異なる人・組織の協働を支えるチカラ”を「ボランティアコーディネーション力(りよく)」と名づけ、次のように定義しました。

ボランティア活動を理解し意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整することで、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする力

ボランティアコーディネーション力検定は、ボランティア活動やコーディネーションの経験がある皆さんに幅広く受けてほしい「3級」から始まり、実務を進める上でも役立つ「2級」、さらに包括的なボランティアコーディネーションの実践を目指す「1級」と、3つのレベルを設定しています。

## 日本ボランティアコーディネーター協会が実施する検定システムの全体像



### 認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

2001年に設立。ボランティアコーディネーターの専門性を確立し、社会的な認知を得るためのさまざまな取り組みをしてきました。毎年開催している全国ボランティアコーディネーター研究集会や、基礎研修・ステップアップ研修の実施、全国への講師派遣、出版などを通して、多様な分野のボランティアコーディネーションに携わるスタッフたちに学びとネットワークづくりの場を提供しています。

#### <ボランティアコーディネーション力検定試験委員会>

委員長 妻鹿ふみ子 (東海大学)  
副委員長 栗木 梨衣 (愛知県国際交流協会)  
委員 赤澤 清孝 (ユースビジョン)  
足立 陽子 (首都大学東京 ボランティアセンター)  
岩井 俊宗 (とちぎユースサポーターズネットワーク)  
上田 英司 (日本NPOセンター)

小原 宗一 (北区社会福祉協議会)  
唐木理恵子 (袖ワックス)  
加留部貴行 (九州大学)  
公文真理亜 (北九州市社会福祉協議会)  
後藤麻理子 (日本ボランティアコーディネーター協会)  
新堀 春輔 (京都市環境保全活動推進協会)

竹田 純子 (龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター)  
垂井加寿恵 (神戸学院大学 ボランティア活動支援室)  
土崎 雄祐 (宇都宮大学)  
濱屋 伸子 (京都市国際交流協会)  
疋田 恵子 (杉並区社会福祉協議会)  
三田 響子 (相模原市社会福祉協議会)